

栗駒山の火山活動解説資料（令和2年5月）

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図1～4）

監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

26日に実施した現地調査では、これまでと比較して、ゼッタ沢上流の地熱域の状況に特段の変化はみられませんでした。昭和湖及びその周辺では、地熱域はみられませんでした。引き続き高い濃度で硫化水素が発生していることを確認しました。

・ 地震や微動の発生状況（図5、図7）

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

24日に山頂の南約4km、M2.3の地震が発生しましたが、山体から離れた場所で発生しており、噴気活動、地殻変動等に変化がみられておらず火山活動の活発化は認められません。なお、栗駒山周辺では、「平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震」の余震域内で地震活動が続いています。

・ 地殻変動の状況（図6、図9）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（令和2年6月分）は令和2年7月8日に発表する予定です。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」及び「電子地形図（タイル）」を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。



図1 栗駒山 山頂周辺の状況（5月30日）
・大柳監視カメラ（山頂の南東約20km）の映像です。

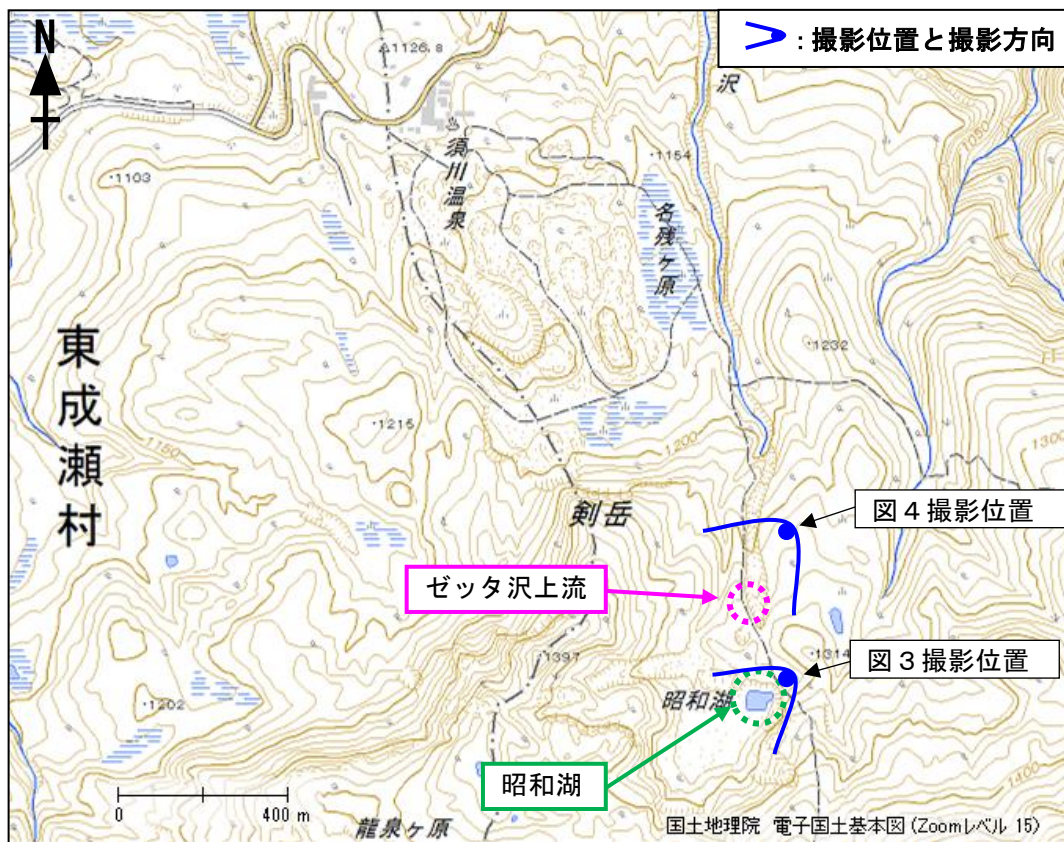


図2 栗駒山 昭和湖、ゼッタ沢上流の写真と地表面温度分布撮影位置及び撮影方向

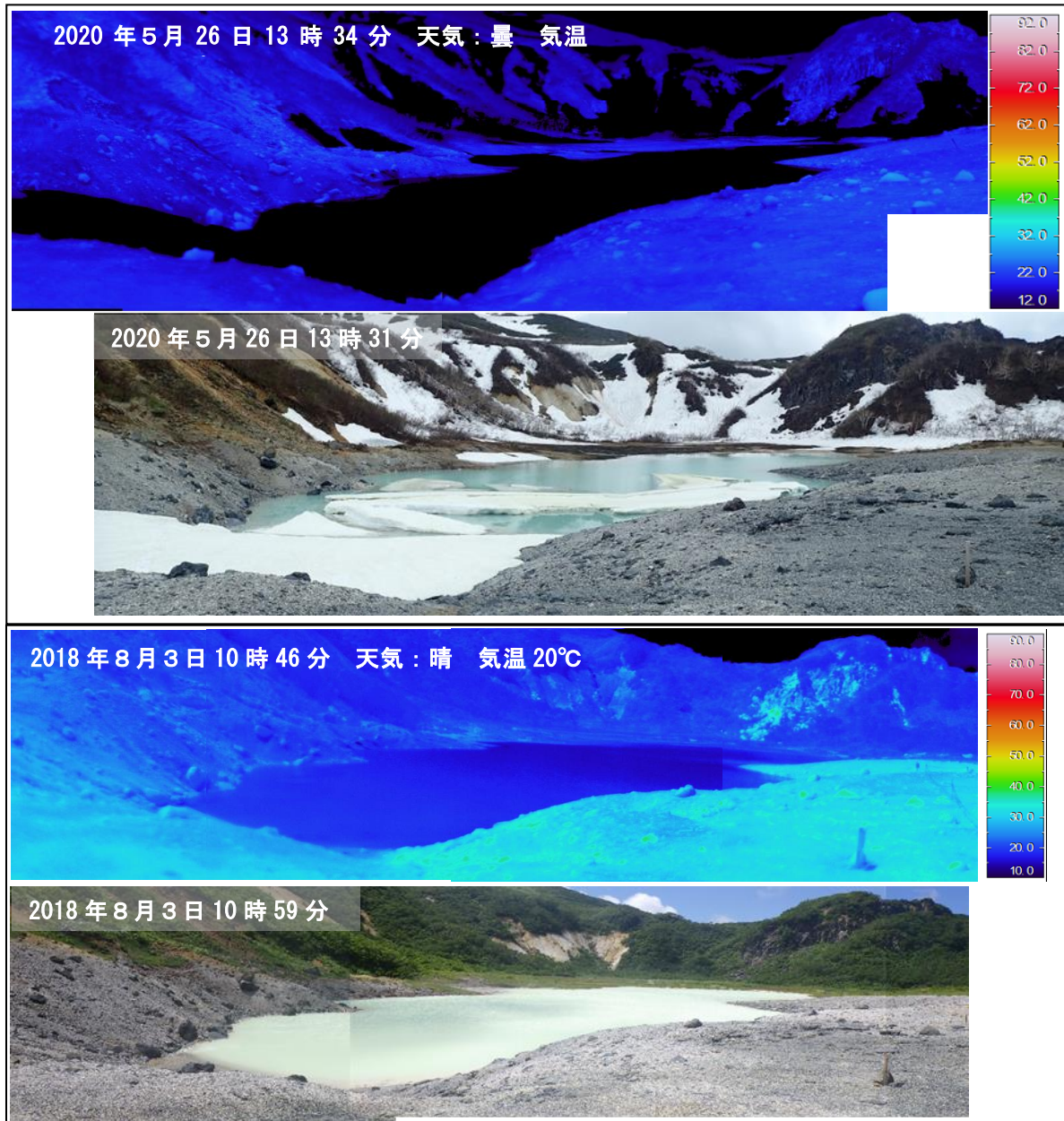


図3 栗駒山 北東から撮影した昭和湖の状況と地表面温度分布

- ・昭和湖及び湖岸に地熱域は認められません。
（※温度の高い部分は、岩等が日射により温められたことによるものと推定されます。）

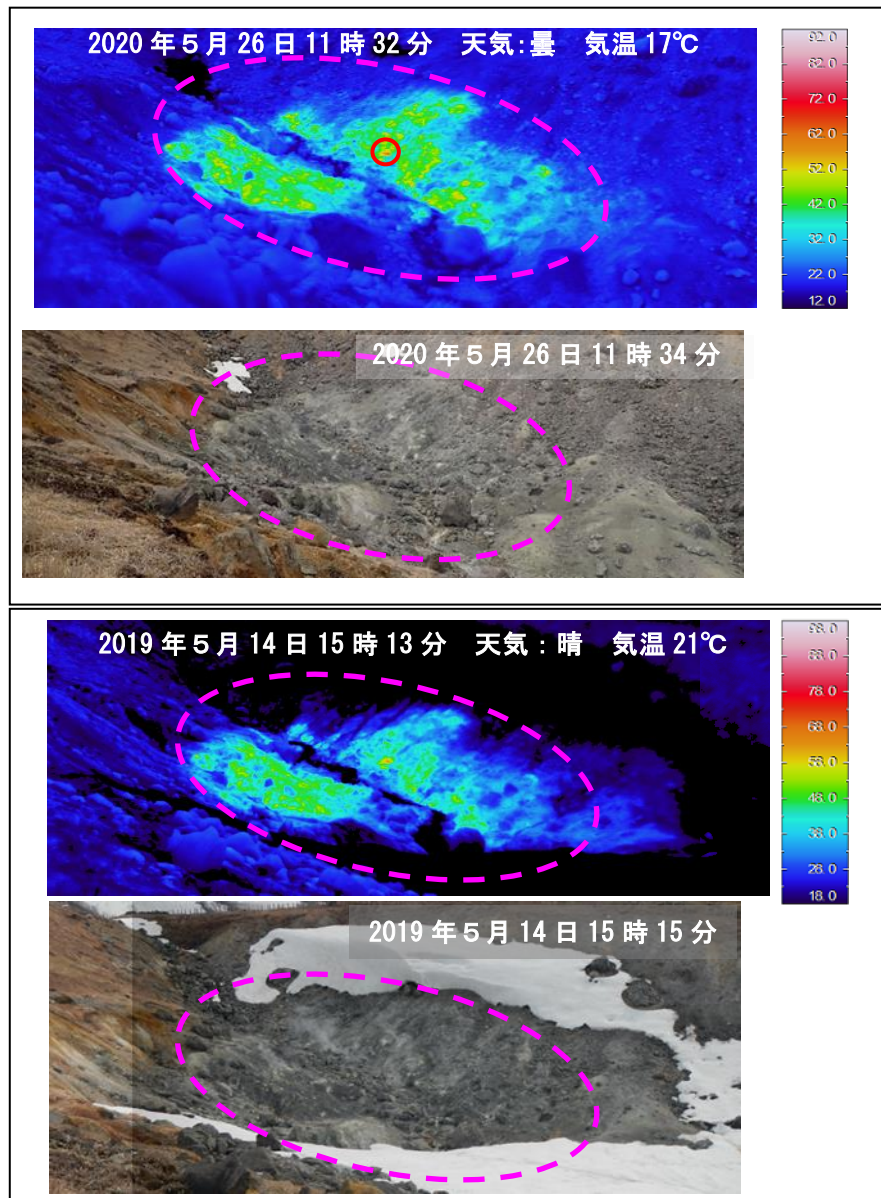


図4 栗駒山 北東から撮影したゼッタ沢上流の状況と地表面温度分布

- ・地熱域（桃破線）の状況に特段の変化はみられません。
- ・赤丸付近の噴気の温度は93.5℃、その他の噴気の温度も90～94℃程度で大きな変化はありませんでした。



図5 栗駒山 日別地震回数（2006年10月～2020年5月）

・計数基準の変遷は次のとおりです。

観測開始 2006年10月12日～旧耕英観測点 振幅 $3.0\mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間2.0秒以内

注1) 2008年7月2日～小安^{おやす}観測点（2010年10月8日まで）及び広域地震観測網

注2) 2016年6月1日～耕英観測点 振幅 $3.0\mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間2.0秒以内

※2008年6月14日～7月2日18時（図の灰色部分）

「平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震」の影響により観測不能

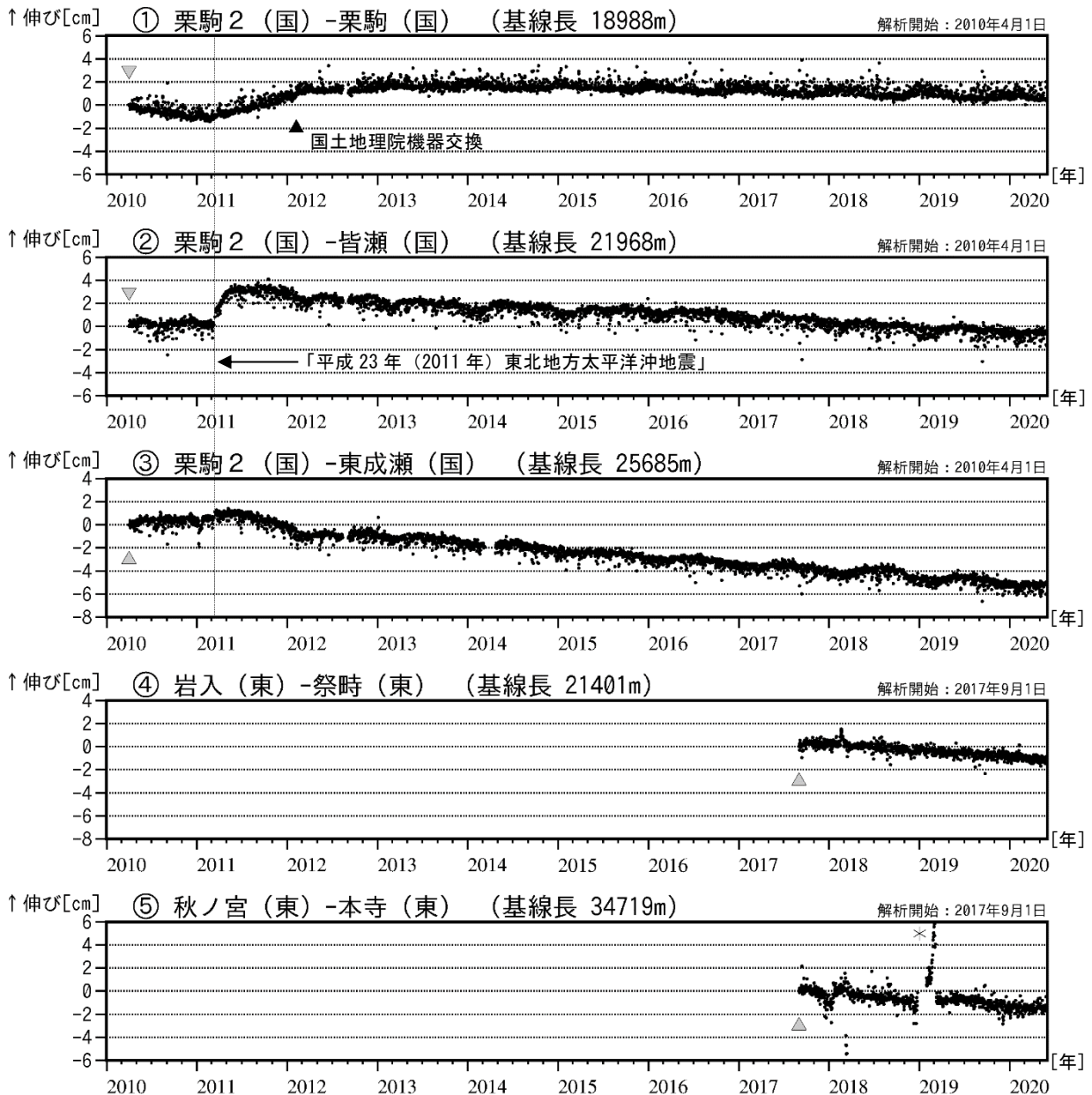


図6 栗駒山 GNSS 基線長変化図（2010年4月～2020年5月）

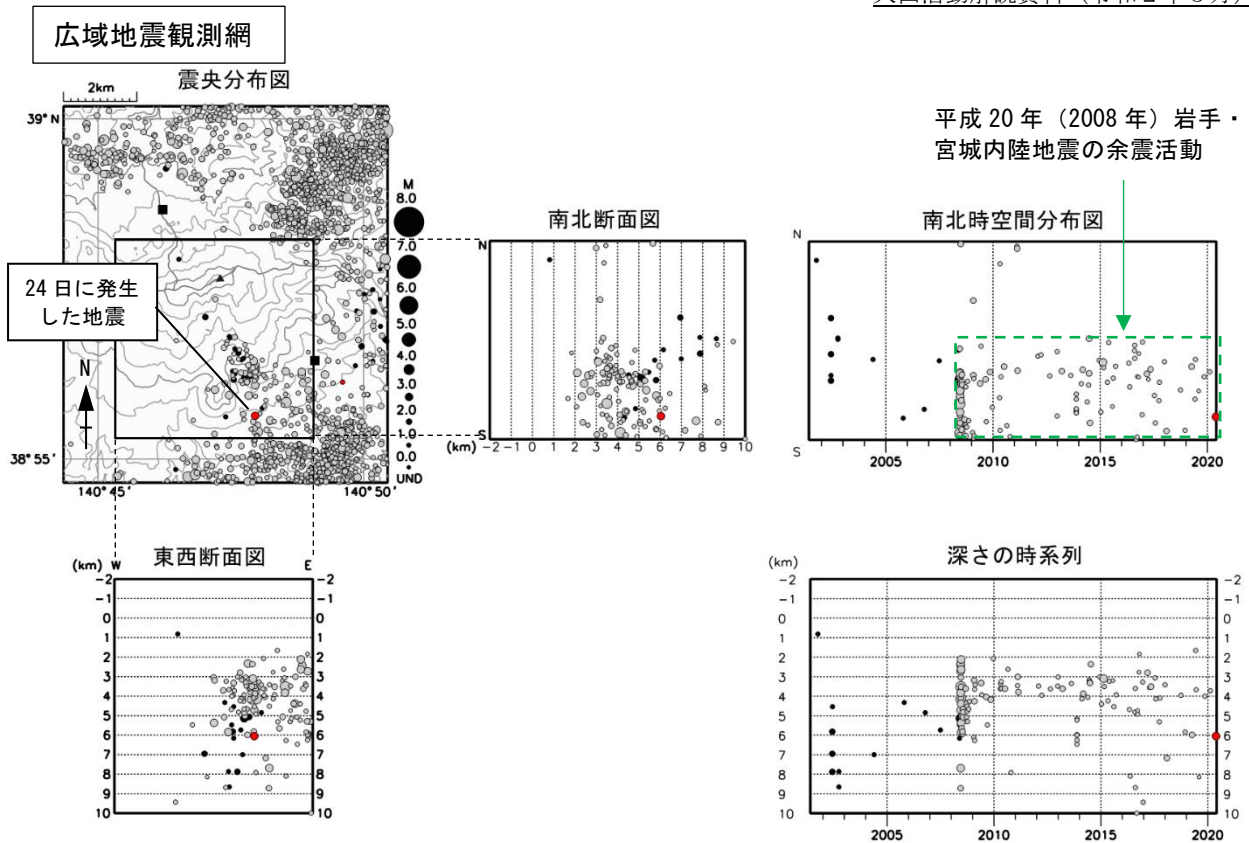
・「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。

・①～⑤は図5のGNSS基線①～⑤に対応しています。

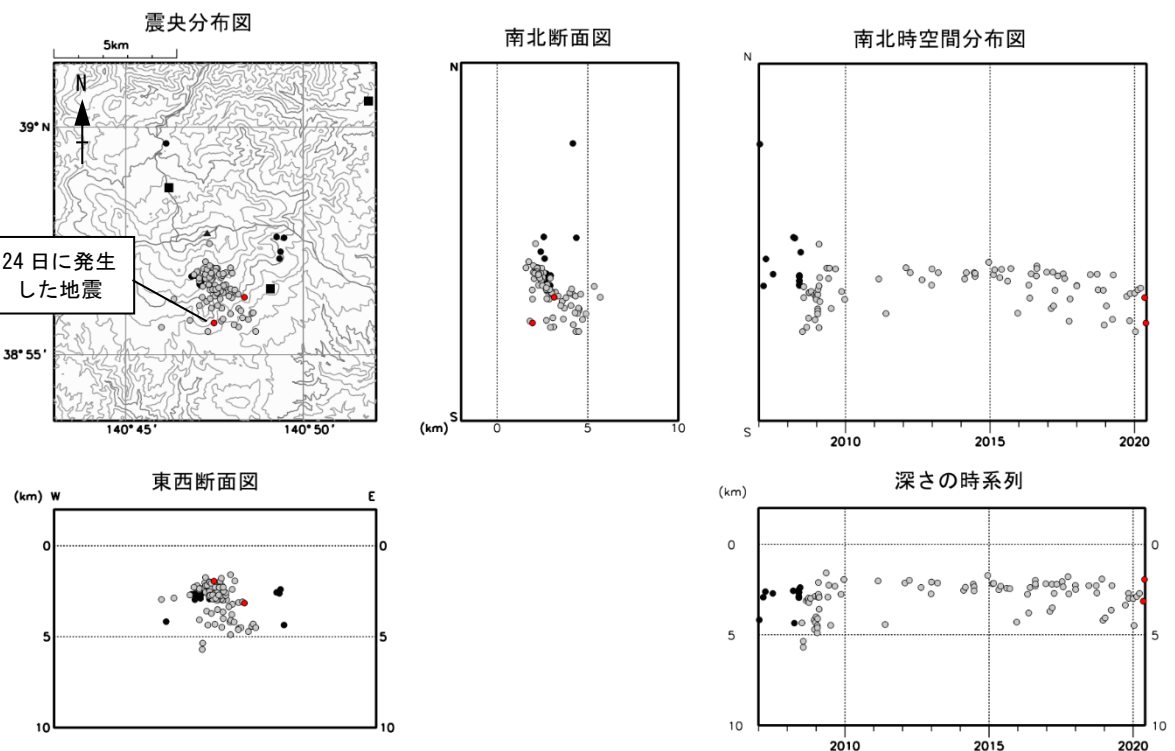
・（国）は国土地理院、（東）は東北大学の観測点を示します。

*：秋ノ宮（東）観測点に起因する変化で、火山活動によるものではないと考えられます。

▲▼：解析開始を示します。



火山震源



● : 2020年5月1日～5月31日 ● : 2008年6月14日～2020年4月30日

● : 2001年6月1日～2008年6月13日 ■ : 地震観測点位置

図7 栗駒山 地震活動（2001年6月～2020年5月）

- ・24日に山頂の南約4km、M2.3の地震が発生しましたが、山体から離れた場所で発生しており、噴気活動、地殻変動等に変化がみられておらず火山活動の活発化は認められません。
- ・火山近傍の地震活動に特段の変化は認められていません。
- ・2020年4月18日以降の地震について、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、それ以前と比較して微小な地震での震源決定数の変化（増減）が見られます。（上図：広域地震観測網）

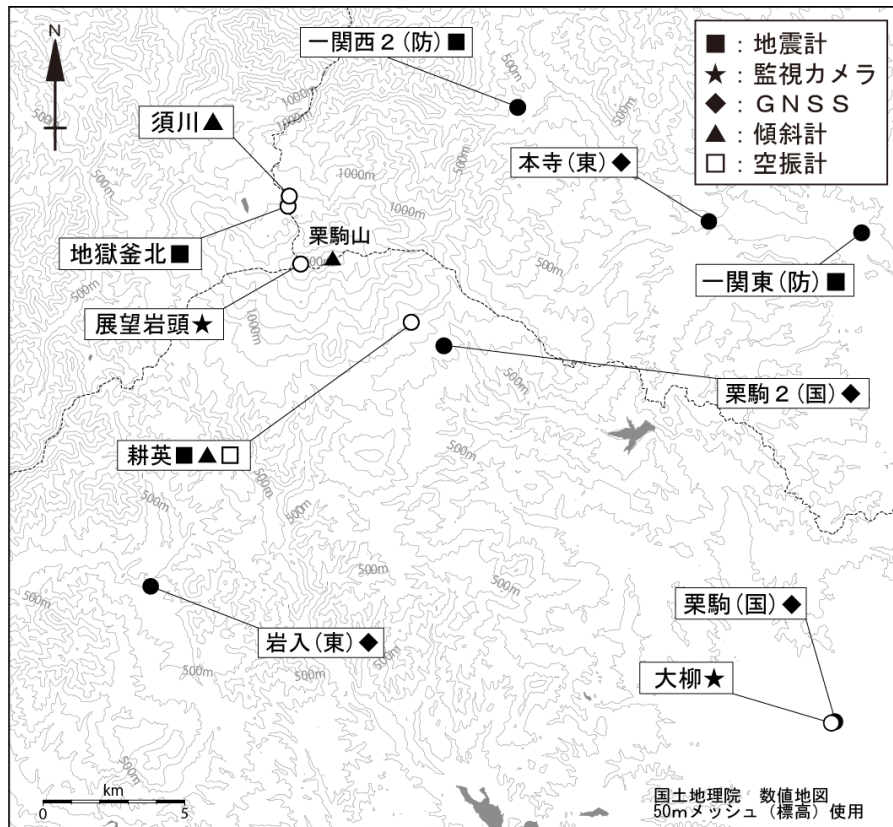


図8 栗駒山 観測点配置図

白丸（○）は気象庁、黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院 （東）：東北大学 （防）：防災科学技術研究所

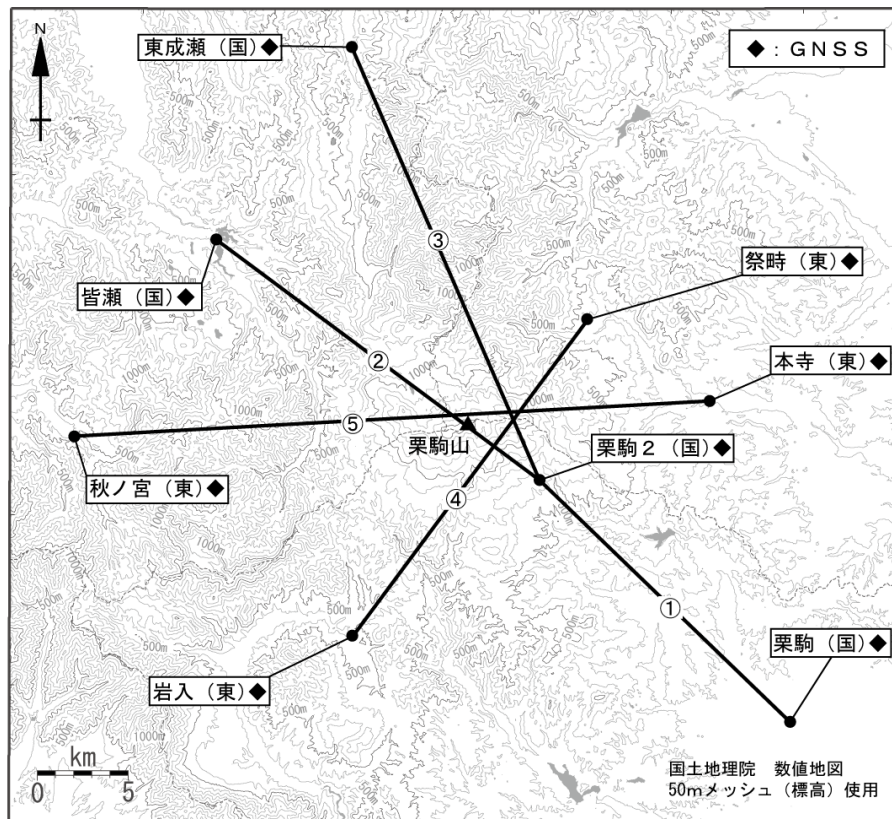


図9 栗駒山 GNSS 観測基線図

黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院 （東）：東北大学